

感染症情報 4月23日～5月6日

4月23日から29日分

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1613例(堺市	60例)
②溶連菌感染症	510例(堺市	32例)
③突発性発疹	138例(堺市	7例)
④みずぼうそう	82例(堺市	1例)
⑤RSウイルス感染症	81例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	125例(堺市	16例)
---------	---------	------

4月30日から5月6日分

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	845例(堺市	43例)
②溶連菌感染症	242例(堺市	16例)
③突発性発疹	80例(堺市	3例)
④咽頭結膜熱	78例(堺市	4例)
⑤みずぼうそう	59例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	47例(堺市	5例)
---------	--------	-----

2週分まとめて、報告された。

感染症報告数は4月23日から29日までがその前週より9.1%増の2,597件で、4月30日から5月6日までが45.4%減の1,417件であった。

4月30日から5月6日までの集計はGWを挟んでいて単純な比較は難しいが、4月23日から29日までの集計で感染性胃腸炎が府下でその前の週の1546例から1613例で4%増(堺市は67→60例で10%減)、溶連菌感染症が府下でその前の週の428例から510例で19%増(堺市は38→32例で16%減)で、府全体としては、今後の動向が注目されるとあった。

麻疹、風疹の報告はなかった。